

◎ いちご、コインランドリー事業に参入

いちごは、コインランドリー事業に参入する。同社とグループ企業のセントロ、およびストレージプラスは14日、国内外でランドリーサービスの店舗開発や経営支援を手掛けるOKULAB(東京・渋谷区、久保田淳代表取締役CEO)と提携契約を交わすとともに、合併会社を立ち上げた。4社の異なる強みを活かし、飲食やレンタル収納を備える複合型店舗を全国展開する。向こう3年に100店舗の新規出店を目指す。

新会社は「Getter LAB」(東京・港区、永松修平社長)。店舗の企画から建築設計・施工、運営までを包括的に手掛ける。洗濯や飲食・物販、収納などの機能を持つ店舗を全国に増やす。新会社の資本金は5000万円。出資比率はいちごが50%、セントロ30%、ストレージプラス10%、OKULAB10%。OKULABは独自ブランド「BALUKO LA UNDRY PLACE」を東京の中野や三鷹、三軒茶屋などで展開中。国内では単身・共働き世帯の増加を受けてコインランドリーの需要が急速に高まっている。いちごは長期安定的な収益確保も期待できるランドリービジネスに大きな商機があると判断した。

◎ スーパーシティ、通常国会で法整備へ

政府は17日、国家戦略特別区域諮問会議を開き、各区域から上がった区域計画の認定を行ったほか、AIやビッグデータを活用した最先端都市となる「スーパーシティ」構想の実現に向け、次期通常国会で法整備を行い、来年の春から夏にかけ、エリアの公募を行うことを確認した。今後、住民参画の枠組みや独立性の